

名古屋刑務所豊橋刑務支所で、受刑者と話す中野さん(9日、愛知県豊橋市)



社会人学生、受刑者に授業

愛知・豊橋刑務支所「伝える」テーマに

拘禁刑導入受け

名古屋刑務所豊橋刑務支所(愛知県豊橋市)は日本福祉大(同県美浜町)と連携し、社会福祉士などの資格を持つ社会人学生4人が講師となり、受刑者に社会復帰のための授業をした。拘禁刑導入で取り入れられた特性に合わせた処遇の一端。支所によると、刑事施設で学生が授業を受け持つのは珍しい。

9日に行われた授業のテーマは「わたしを伝える」。高齢だったり、障害があったりして、出所後に福祉サービス利用が想定される女性受刑者5人が受講した。講師の学生と受刑者が車座になり、受刑者は学生の問いかけに応じ、自身の好きなことや長所を発表した。学生は大きく相づちを打ち、発言者以外の受刑者に発言者をたたえるよう促すなど、話しやすい雰囲気をつくっていた。

70代の女性受刑者は「無口な自分がこんなに話せると思わなかった。出所後に向けて勇気が持てた」と語った。

参加した学生で、社会福祉士の中野恭子さんは「思った以上に共感や気持ちを言語化して伝えてくれた」と手応えを口にした。